

世界と繋がる八王子シルクロードプロジェクト

研究室・ゼミナール名 東京造形大学 MD 研究室
担当教員 栗野由美
代表者名 NOH JUNWOO

1. 要約

幕末から絹の道を通してヨーロッパに繋がる貿易を行っていた八王子は、日本の国際化において重要な地域であった。そこで八王子絹織物の道の価値と国際交流の歴史、そこから繋がる現代八王子の文化について発信するメディアをデザインしたいと考え、世界と繋がるシルクロードプロジェクトを企画して、ウェブサイト、動画、フライヤーを制作した。現地取材や文献調査、ヒアリングを重ねての制作を通して我々も多くの史実を知った。この発見を伝えるコンテンツで MICE 誘致に寄与できれば幸いである。

2. 目的

絹の生産が盛んな八王子は江戸幕末から絹の道を通してヨーロッパに繋がる貿易を行い、日本の国際化において重要な地域であった。しかし、現在その価値があまり外部に知らされてない。これは「八王子絹の道」について紹介するインターネット動画、「八王子絹の道資料館」の公式サイトがないことにも起因する。そこで八王子絹の道の価値と国際交流の歴史、そしてそこから繋がる現代八王子の文化について発信するメディアをデザインしたいと考えた。具体的には「八王子絹の道」及び八王子市の絹織物歴史を学べる動画、ポータルサイト、フライヤーだが、歴史の学習に留まらず、現代の八王子の絹織物について興味を持てるようにする狙いもある。

動画とウェブサイトはインターネットで公開するほか、資料館内部で上映、展示品の近く提示などすれば、来訪者の観賞体験をより豊かにすることにも寄与するだろう。BENECKなどの商業施設では映像とフライヤーを設置して、八王子産絹商品の由来と発展の過程を伝え、商品への信頼性を高める役割を目指す。

このブランディング活動は八王子のブラン

ドメッセージ「あなたのみちを、あるけるまち、八王子」とともに、八王子で開催する MICE の誘致や参加者への PR 目的以外にも、八王子市民に対する生涯学習の契機作り、学校教育での地域学習題材としての活用、学園都市・八王子に居住・通学する学生、とりわけ留学生らへの入学式または各校の留学 PR にも活かせる。

3. 方法

方法基礎調査・情報収集については、八王子市の絹織物の文化・歴史・産業関連の施設の資料見学、ヒアリング、記載内容への助言および確認への協力、資料の使用許可をいただいた。

制作物（映像・ウェブサイト・フライヤー）については、実際に訪問して散歩、撮影ポイントを取材し、見せ方を検討した。

4. 結果

基礎調査・情報収集

動画、ウェブサイトに必要な情報の収集のため、2020年7月から12月10日まで、インターネットと図書館での文献調査、関連施設訪問、現地散策体験を実施した。こうして収集した資料から写真素材を選び、映像のシナリオを決定していった。取材場所は八王子絹の道資料館、絹の道、八王子郷土資料館、横浜開港資料館、八王子織物工業組合直営ショップ「BENECK」、八王子織物組合直売フェア（2020年12月5日～6日）、澤井織物工場（2020年12月10日）である。澤井織物工場では、撮影、インタビュー、織の体験を通して、ものづくりの心が受け継がれて伝統になっていくのを感じた。

制作

世界と繋がるシルクロードプロジェクトの

ウェブサイト、動画、フライヤーを制作した（図1, 2, 3参照）。八王子市絹の道、絹の道資料館は新型コロナウイルス感染症防疫対策や鉄道駅のある八王子市中心地域からのアクセスが不利であることを考慮して、より臨場感のある映像体験を提供すべく、360度VRカメラで撮影し、ストリートビュー機能で八王子市絹の道資料館から絹の道、大塚山公園までの道をスマートフォンやパソコンでバーチャル散歩できるコンテンツにした。ストリートビューの中のオブジェクトをタップすると、八王子の絹織物の歴史を紹介する動画が再生される。

また、八王子と絹の関係、絹の道で行われた国際交流の歴史、地理的特徴、近・現代の八王子の絹織物の歴史、特徴、多摩織と澤井織物工場を見学した内容をそれぞれ1~2分にまとめた6本の動画にも掲載した。日本語圏外の方にも情報を視覚的、直感的にわかりやすく伝えるため、モーショングラフィックを活かした。現代の八王子で生産される絹商品を紹介するために、現物を購入し、着用・使用している姿を撮影して八王子産絹織物製品の魅力をアピールするコンテンツ、本事業協力団体の連絡先、八王子の絹織物に関してのクイズのページ、動画だけをまとめたページなど、様々な利用、楽しんでいただけるサイトを目指した。ウェブサイトは2021年12月31日まで利用可能である。

プロモーション

広報手段として、ウェブサイトに接続できるQRコード、本事業の概要とウェブサイトの使い方を掲載したA6サイズのフライヤーを制作した。フライヤーは八王子絹の道資料館、郷土資料館、八王子織物工業組合直営ショップ「BENECK」などの八王子の織物の歴史、文化と関係ある場所に設置していただいた。

制作物の内容の監修には八王子郷土資料館学芸員と八王子織物工業組合の方にも加わっていただき、素材の使用許可や、制作物の内容の添削をしていただいた。このことにより正確で説得力あるコンテンツになった。また、これらの成果物が八王子を来訪した方々の目に触れるように、フライヤーを八王子郷土資料館、絹の道資料館、八王子織物工業

組合直営ショップ「BENECK」などに配布した。

5. 考察（地域への提言・提案を含む）

地域からの評価

八王子市郷土資料館の方から下記の評価をいただいた。

“本プロジェクトにより作成された映像コンテンツは、絹の道と絹の道資料館のストリートビューを楽しみながら、絹の道や織物の歴史の映像を見て、クイズを解いて総まとめをするという構成であり、楽しみながら学ぶことが出来る優れたコンテンツである。映像は動画や写真を多用し子供から大人まで理解できる内容である。「絹の道」は、日本遺産に認定された「霊気満山 高尾山」の構成文化財の一つで、八王子市の重要な歴史遺産の一つだが、不便な立地のため集客面に課題があった。ストリートビューに映像を組み合わせる新たな手法によって、特に若い世代に絹の道や織物に興味を持ち、現地に足を運ぶことにつながるだろう。郷土資料館の仮移転先（桑都日本遺産センター八王子博物館）での周知はもちろん、映像を公開することで来館者に絹の道および絹の道資料館への周遊を促すことが出来ると期待している。”

展望・改善点

- ・ウェブサイトのストリートビュー・ページで再生するファイルサイズが大きいため通信に負荷がかかり、インターネットの接続状況が悪い場所では読み込みにかなり時間がかかってしまう。これはユーザーにも負担をかけることになり、途中で閲覧を放棄される可能性もあるため、改善を要する。
- ・ウェブサイトの公開期間のうちに、プログラムの不備や記載情報ミスも精査し、見つけ次第修正していきたい。
- ・好評を得てウェブサイトの公開期間を延長することになった場合は、掲載資料の使用期間延長許可申請やレンタルサーバーの契約更新などが必要になる。その際に費用がかかるので、その判断を誰がいつ決定して、どのように責任を持つかを決めておく必要がある。
- ・各施設に配置したフライヤーが不足した場

合に補充する手段を対策しておく必要がある。

・「謎解きカードの設問に正解答すると八王子産絹製品がプレゼントされる」イベントを計画したが、実践（シミュレーション）には至らなかった。

・八王子市郷土資料館の方から 2021 年 4 月末頃から八王子サザンスカイタワーで行われる八王子郷土資料館主催の展示にシルクロードプロジェクトのフライヤーまたは作品を展示するご提案をいただき、相談をすすめている。

6. 結論

沢山の八王子の絹織物の歴史・文化の情報をまとめて、誰にでもわかりやすく、正しく、面白く表現することに苦労した。歴史文物についてかなり勉強する必要があり、制作を始める前に沢山の時間を、文献調査、現地取材に使ったため、制作時間を圧迫することになった。しかしながら、地域の方々と連携して作品を作る経験ができた有意義な時間だった。資料調査、制作、プロモーション全般にたくさんの助けを得ながら、その方々の、八王子の織物の魅力をアピールするための努力を間近に見て、責任感を持って制作した。

約 3 年間八王子にある大学に通学していたが、八王子の歴史や文化についてはほとんど知らなかった。しかし、この次長を通して、八王子を支えてきた、織物と国際交流の歴史について勉強することができた。八王子について勉強したら、今まで気に留めてこなかった八王子の町並みを見る目が変わった。八王子駅周辺の橋の名前やモニュメント、そして道路名、町の名前も皆、昔から八王子を支えてきた絹織物文化の影響で会ったことに気づいた。

本事業を進めながら、八王子にある他の産業についても興味を湧いた。また機会があれば別の形の制作物として挑戦してみたい。

7. 参考文献

参考・引用文献

八王子市絹の道資料館解説パネル『多摩織と八王子織物 織り方と歴史』編集：伝統的工芸品産業振興協会・八王子織物工業組合、発行：八王子織物工業組合

「八王子の歴史文化百年の計」令和 2 年、編集：八王子市教育委員会 生涯学習スポーツ

部文化財課

制作物に含まれる写真資料

八王子市郷土資料館所蔵写真

横浜開港資料館所蔵写真

・「横浜交易西洋人荷物送之図 貞秀画 文久元年（1861）」

・「ペリー提督・横浜上陸の図」

・「横浜港湾 1910 年代」

・「横浜周辺外国人遊歩区域図 1867 年頃」

・「養蚕・給桑の後継 明治期、横浜市中に於て外国人生糸を見分る図」

「八王子百年の彩り」2017 年 9 月 16 日、編集：

八王子郷土資料館、発行：八王子教育委員会

「セピア色の風景一写真でみる明治・大正・昭和の八王子」1998 年 10 月 13 日、編集：八王子市郷土資料館、発行：八王子市教育委員会

「戦後 70 年昭和の戦争と八王子」2015 年 7 月 22 日、編集：八王子市郷土資料館、発行：八王子市教育委員会

「織物の八王子―戦後から現代までをたどる―」2020 年 2 月 15 日、編集：八王子市郷土資料館、発行：八王子市教育委員会



図 1 印刷配布したフライヤー（両面）

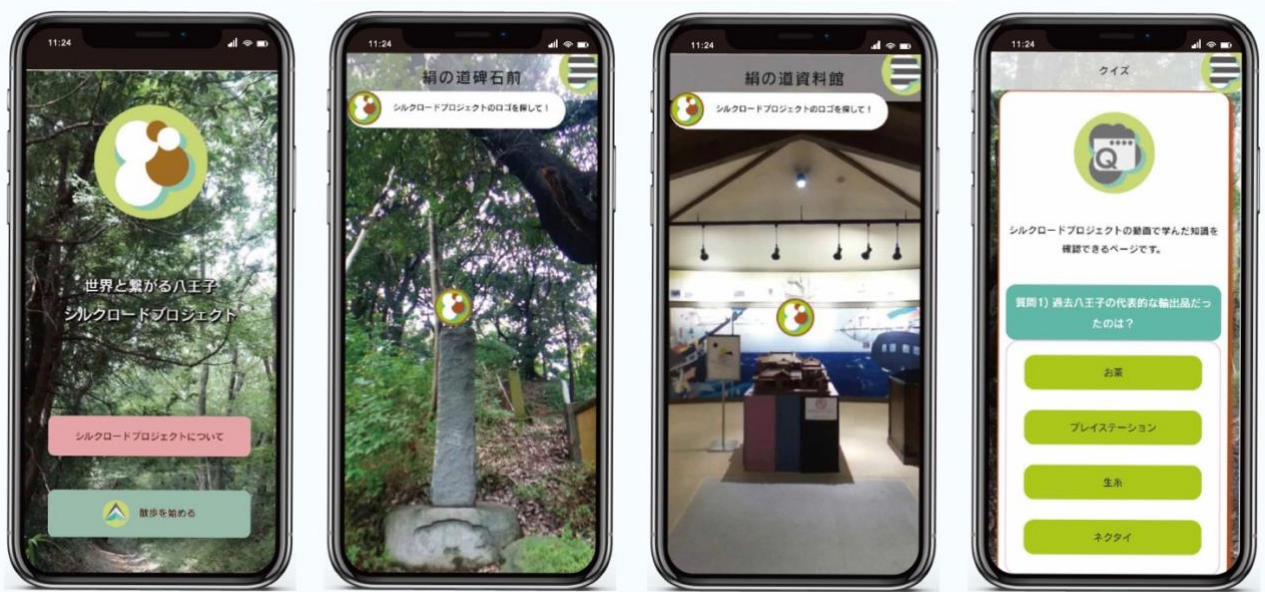


図2 ウェブサイト（スマートフォン版）



図3 ウェブサイト内ストリートビューから閲覧できる動画6点（各、約3分）。左段上から、1. 桑の都八王子、2. 絹の道物語、3. 絹の道について、右段上から 4. 現代の八王子の織物文化、5. 多摩織、6. 澤井織物工場。